

発達障がいの理解

にいつ眼科院内勉強会

2022/11/17



当院では、自閉症スペクトラム障がいや
注意欠如多動性障がいのお子様の
眼科検診をさせていただいております。
そのため、株式会社 真友社の石
田友美先生を講師にお招きし、
発達障がいについて、理解を深め
るための勉強会を致しました。



発達障がいとは、「脳機能の障がい」

- 自閉症スペクトラム障がい (ASD)
- 注意欠如・多動性障がい (ADHD)
- 学習障がい (LD)
- 上記の診断基準のチェック項目に該当し、6か月以上状況が継続
- グレーゾーン（項目は該当するが数が足りない・ご本人の調子や波によって状態の継続が満たない）の方
- 二次障がいの方（うつ病・適応障がい・不安障がい・反抗挑戦性障がい）

人によって濃淡や強弱が様々、季節、環境によっても左右され、一概に明確な共通特性を言いきれない理解の困難さがある



当事者・ご家族の気持ちと支援

当事者のお気持ち

- 何をされるのかわからなくて不安
- 説明が分からない
- 何を言われているのかわからない
- 勝手に体が動く、じっとしてられない
- 静かにしなくてはいけないのは辛い
- 声が出てしまう

ご家族のお気持ち

- 連れてくること自体大変
- 言い聞かせてもうまく伝わらない
- 当事者を見ながら医者や看護師の説明を聞くのは困難
- まわりの目が気になる。迷惑かけていないか不安。
- 指示の通りにさせられない。行きたくない。



当事者・ご家族への支援

当事者への支援

- 視覚的な説明・全体の手順・事前に見通しをつける。
- 言葉は簡単に短く、わかりやすく。
- 抽象的な表現は使わない。
- 安心アイテムの持参可
- 一人ひとり違うので、一人ひとりの個性にあったやり方の工夫。

ご家族への支援


- 院外待機（車待機）
- おおらかな雰囲気に対応
- 一時的に別室預りでゆっくりと説明
- 暖かい声かけ
- ご家族に伺いながらの対応



まとめ

「障がい」への配慮としてではなく、「個への配慮」として自然に接する

- 当院でもできるだけ、安心して受診していただけますように対応していきたいと考えております。
- 院外待機・車待機・別室待機・別室診察を行っております。
- 受診時間もできるだけ、患者様が少ない時間帯に枠を設けております。
- ご遠慮なくお声かけいただければ対応させていただきます。
- ホームページの間診票から、配慮の必要なお子様へ進んでください。



皆さんが気持ちよく
受診できますように
努力致します。